

平成23年度 学校評価 (各担当の重点目標一覧)

| 本年度の重点目標 |       | 教師全員が学科の枠を超え、情報を共有し、協力しあって生徒の指導にあたる体制を作り、学校をあげて社会人として通用する人間教育に全力を挙げる。                                      |   |   |
|----------|-------|--|---|---|
| 番号       | 担当    | 重点目標   | 具体的方策   | 留意事項  |
| 1        | 総務部   | ア 学校と家庭の連携と情報の共有化<br>イ 地域から信頼される学校づくり<br>ウ 会議を含めた学校行事の効率化  | <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な学校での教育活動に対して、保護者の立場に立った視点や意見を素直に受け止め、対応可能なことから反映させる。</li> <li>P T Aの諸活動(懇談会、講演会、研修見学会、高等学校P T A連合会主催の各大会等)を通して保護者と連携を深めると同時に、地域にアピールできる場面を充実させる。</li> <li>学校行事の計画的な立案を進める。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>P T A活動に係わる保護者からの意見等に適切に対応できる体制を整える。</li> <li>P T A活動に可能な限り多数の職員が係わるような様々な機会を捉えて宣伝する。</li> <li>運営委員会の一層の充実を図る。</li> </ul>  |
| 2        | 教務部   | ア 「わかりやすく、興味の湧く授業」を目指した各教科・科目内容における基礎・基本の徹底<br>イ 授業規律の確立と学習環境の向上   | <ul style="list-style-type: none"> <li>教員の研修を充実させ、授業参観を活発にし、わかりやすい授業展開を工夫する。</li> <li>各教科・科目における基礎的、基本的分野を絞込み、継続した学習指導を心掛ける。朝学習を、学年会を中心に実施し、学ぶ意欲を高めさせる。</li> <li>授業規律の確立に向けて教職員相互で共通認識を持ち、教科・学科の枠を超えてよりよい学習環境作りを組織的に推進する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある授業を展開するための工夫について、全職員で検討する機会を設け、新しい教育課程について具体化する。</li> <li>生徒が授業と授業以外の区別を意識できるよう、全職員がけじめある態度で臨む。</li> </ul>   |
| 3        | 生活指導部 | ア 適切な言葉遣いの励行<br>イ 適正な身だしなみの習慣化<br>ウ 時間厳守の精神の涵養   | <ul style="list-style-type: none"> <li>日常の挨拶や職員室の入退室における適切な所作を具体的に伝達する。</li> <li>シャツの第一ボタンを外すこと、男子生徒がズボンを下げてはくこと、および女子生徒がスカートを短くすることをこまめに指導する。</li> <li>遅刻防止を呼びかけ、遅刻多回者への段階的な個別指導を充実させる。また、授業の始業時間を厳守させる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>時と場に応じて、誰に対しても適切に対応することができるライフスキルを身につけさせる。</li> <li>細かな服装の乱れを妥協することなく指導することにより、日常の生活姿勢の向上に向けた意識付けの材料とする。</li> <li>集団指導時の集合の状況や移動教室における始業時間に着眼し、適時性の高い指導を実践する。</li> </ul> |
| 4        | 生徒会部  | ア 学校行事や部活動の充実<br>イ 自発的・自治的な活動による学校の活性化   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会行事や部活動が円滑に行えるように、規則を守り、各自の役割を責任を持って行うだけでなく、他者に対して配慮ができるようにする。</li> <li>生徒会機関誌を利用し、全校生徒に部活動の活躍ぶりを広報し、生徒自身の活躍を意識させる。</li> <li>生徒自らが生徒会活動の企画・運営に積極的に参加し、自発的な活動が展開できるようにする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に分かり易い資料を作成し、役割が正しく理解できるようにする。これまでの連絡方法に加え、全校集会や生徒会機関紙も利用して周知する。</li> <li>生徒会役員だけでなく、議員等にも呼びかけ、自発的な活動を促す。行事予定以外の活動計画に対しても適切な指導・助言をする。</li> </ul>                       |
| 5        | 工務部   | ア 資格取得の推進<br>・技術検定<br>・技術顕彰<br>・国家資格取得<br><br>・ジュニアマイスター顕彰の取得<br><br>イ 競技大会・コンクールへの挑戦<br>・全国大会<br>・全国コンクール | <ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県技術検定制度、愛知県技術顕彰制度の啓発活動を行い、計算技術検定、情報技術検定、危険物取扱者など3ポイント以上の資格を取得させる。</li> <li>専門学科で必要とする国家資格取得の啓発活動を行い、資格を取得させる。</li> <li>ジュニアマイスター顕彰制度の啓発活動を行う。また、資格データを活用し、シルバー、ゴールド、特別表彰受賞候補者に顕彰申請の方法を紹介する。</li> <li>総合競技大会やロボット競技大会など啓発活動を行い、県大会で上位入賞を目指し、東海大会、全国大会へ挑戦する。</li> <li>各種団体が主催するコンクールに参加し、上位入賞を目指し、全国コンクールに挑戦する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>資格指導の案内手引書を作成して学習目標を立てさせて指導する。</li> <li>補習等職員の理解と協力が得られるようにする。</li> <li>各種競技大会に積極的に挑戦させる。</li> </ul>   |

|    |       |   |   |   |
|----|-------|---|---|---|
| 6  | 進路指導部 | <p>ア 各学年に応じた計画的な進路指導の充実</p> <p>イ キャリア教育の充実</p> <p>ウ 進学指導の強化</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任面接を実施し、早期に進路意識を持たせ、担任・学科との連携を図る。</li> <li>・就職試験や大学推薦試験等の面接指導を8月は学科中心に、9月は全職員により実施し、面接指導の強化をはかる。</li> <li>・キャリア教育を学校全体として、あるいは学科毎にその特色を生かしたインターンシップや会社見学を企画し、社会人としての勤労意識を高める。</li> <li>・進路関係のLTを充実させ、個別の相談を学科・担任・進路指導部と協力して実施する。</li> <li>・早い学年からの進学説明会を開き準備をさせる。また、校外での説明会やオープンキャンパスに参加させる。</li> <li>・進学模試・公務員模試などに積極的に生徒を参加させる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接指導を通じて生徒に進路意識を持たせることができたか。</li> <li>・3年生に対する進路指導が充実していたか。</li> <li>・担任・学科と連携してキャリア教育が行えたか。</li> </ul>   |
| 7  | 保健部   | <p>ア 保健管理の徹底</p> <p>イ 保健指導の充実</p>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒・職員の健康の保持増進を図るとともに安全で健康な学習生活のできる環境の整備に努める。</li> <li>・救急処置については、引き続き計画・連絡・機材の整備に努める。</li> <li>・生徒一人一人の心と体の健康の保持・増進を図るために、年間を通して総合的な保健計画を作成し、保健教育・保健管理の充実を図る。</li> <li>・体の健康については、“保健だより”を通して、季節に対応した対処の方法等を働きかけ、健康に対する意識を高める。</li> <li>・ゴミの適正処理および、環境衛生検査の徹底等、学校環境衛生の適切な維持・改善に努める。・保健管理の徹底</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断の結果を有効に活用し、より健全な学校生活が送れるように努める。</li> <li>・AEDの使用心得を継続して伝達する。</li> <li>・各学期、始まりの段階で心身の状況を把握させ、その後の生活に生かす努力をする。</li> <li>・毎月発行される“保健だよりの有効活用を訴えかける。</li> <li>・ゴミの分別については、引き続き訴えかけるとともに、学校への持ち込みゴミについては、必ず、持ち帰る方向で徹底させたい。</li> <li>・あらゆる状況に対応して、毎日の清掃を徹底させたい。</li> </ul> |
| 8  | 教育相談部 | <p>ア 教育相談と特別支援教育の充実</p> <p>イ 校内、校外の連携と迅速な対応</p>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「相談室だより」により、生徒の心の健康のため、構内外連携を迅速に図り対応する。</li> <li>・教育相談部と養護教諭、スクールカウンセラー、担任の聴力により相談活動を充実する。</li> <li>・特別支援教育について全教職員の理解と協力体制をつくり、必要な支援を行う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談室便りの有効活用を訴えかけSCの連絡をする。</li> <li>・各学期始め、心の状態把握をさせ、指導にあたる。</li> <li>・特別な支援の必要な生徒を把握し指導計画を作る。</li> </ul>   |
| 9  | 図書部   | <p>ア 図書館の活性化および生徒の図書館利用の促進</p> <p>イ 視聴覚行事による文化的体験と情操の育成</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、図書館だよりを発行し、新刊図書の情報や図書館展示の広報に努める。</li> <li>・1年入学時に図書館オリエンテーションを実施する。</li> <li>・演劇・音楽・古典芸能の三つのジャンルを3年間のローテーションで実施する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新刊図書の情報や、図書館展示の広報に努める。</li> <li>・図書館を身近なものに感じさせるよう工夫する。</li> <li>・生徒が興味を持って集中でき、かつ質的に高い作品を選定する。</li> </ul>  |
| 10 | 電子機械科 | <p>ア 基本的な生活習慣の確立</p> <p>イ ものづくり教育と資格取得</p>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻、欠席、早退を撲滅させ、挨拶、望ましい言葉遣いを励行させる。</li> <li>・頭髪、服装など身だしなみについても職員全員で指導する。</li> <li>・授業を大切にし、理解できない生徒を補習などで個別指導を行う。</li> <li>・ものづくりのむずかしさや大切さを理解させる。</li> <li>・実習、課題研究、研究部でのものづくり教育の推進を図る。</li> <li>・在学中に取得できる資格に積極的に参加させ、合格を図る。</li> <li>・技能士など高度な国家資格へも挑戦させる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の重要性について、例示しながら生徒に理解させる。</li> <li>・職員全員で共通理解のもと指導することを心がける。</li> <li>・生徒が理解しやすい工夫をするとともに、教員間でよい教え方の検討をする。</li> <li>・講習会実施や過去問題分析など効率的な指導を心がける。</li> </ul>   |
| 11 | 電気科   | <p>ア 基本的な生活習慣の確立</p> <p>イ 資格取得指導の充実</p>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業開始における生徒の身だしなみを確認し、不備がある生徒には、その都度改めるよう指導する。</li> <li>・遅刻防止の指導や、授業開始の時間を厳格にするなど、時間を守ることの大切さを指導する。</li> <li>・2年生での第二種電気工事士の合格率80%を目指す。(卒業時全員取得を目標とする)第二種電気工事士取得をステップとし、より高度で専門性の高い資格への足がかりとする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の協力も仰ぎながら、連携をとり指導する。</li> <li>・授業・実習はもとより、講習会の指導も充実させる。</li> </ul>   |

|    |       |   |   |  |
|----|-------|---|---|--|
| 12 | 情報技術科 | <p>ア 基本的な生活習慣の向上<br/>・遅刻者数の減少</p> <p>イ ものづくり教育の充実</p> <p>ウ 資格取得の奨励</p>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻、早退、欠席を減少させるため、前年度と同様に担任・学科で協力して指導を行う。保護者との連絡を密にし、家庭の理解と協力のもと徹底した指導をする。</li> <li>提出物の期限を厳守できるようにする。</li> <li>各種競技会・コンテストを目標に、課題研究や研究部での活動を中心に、プログラミング・ものづくり教育の推進を図る。</li> <li>電気・通信・情報技術系の資格取得にあわせた授業展開と補習を実施する。</li> <li>各自の資格取得計画書を作成することで、卒業時までに進路に合わせた資格を計画的に取得させる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>時間を守ることの重要性を認識させ、常にこれを意識して行動できるよう指導する。</li> <li>IT選手権・パソコン甲子園・ネット競技大会等、参加実績のある競技会で結果が残せるよう努力する。</li> <li>2年生の実習において、電気工事の基礎を実施する。また、2,3年生は選択教科を実施する。</li> </ul>                               |
| 13 | 建設科   | <p>ア 運動部への登録の奨励</p> <p>イ 進路希望に応じたコース選択</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1年生には、運動部への登録を勧める。2年生には、継続した活動を指導し、3年生では3年間、運動部で努力した結果を残させる。</li> <li>1年次に、専門科目の基礎学力の定着と進路指導をからめ、コース選択に向けて努力させる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>3年間、部活動に参加した実績を残させる指導を担任と協力して継続的に行う。</li> <li>コース選択は、2回の面接を通して、生徒の進路希望や適正、保護者の希望を把握し、全員が希望通りのコース選択が出来るよう指導する。</li> </ul>  |
| 14 | 化学工業科 | <p>ア 基本的な生活習慣の向上と規範意識の確立</p> <p>イ 信頼と魅力ある学科づくり</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>何事にも担任・学科が協力して指導していく。また、保護者との連絡を密にして、家庭との協力体制を確立する。</li> <li>あいさつ、言葉遣いの指導に力を入れ、望ましい社会性を養い、よい授業規律になるよう徹底する。</li> <li>規則正しい生活を確立し、欠席、遅刻、早退をなくす。</li> <li>基礎、基本をおろそかにせず、魅力ある授業、実験実習になるよう努める。</li> <li>資格取得を奨励し、合格率の向上を目指す。</li> <li>エコカーの各種競技会や総合競技会、ものづくりコンテストなどの参加をとおして、知識・技能の伝承を図る。</li> <li>堀川エコロボットコンテストや、ゆうわフェスタ、青少年のための科学への祭典、技能プラザ、陶のあかり路などをとおして、地域社会とのかかわりを図り、よりいっそうPR活動に努める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭との連携を密にして、よりよい環境を早期に整え、生徒自ら意識するよう指導する。</li> <li>科職員の協力体制を確立して、更なる魅力を引き出すよう心がける。</li> <li>創意工夫をたかめ、化学工業科の特色を活かすように努力する。</li> </ul>   |
| 15 | デザイン科 | <p>ア 学習活動の向上</p> <p>イ 基本的な生活習慣の確立</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>意欲を持って取り組める魅力ある授業や、学力に応じわかりやすい授業展開を工夫する。</li> <li>授業に集中させる工夫をして、授業内での理解や達成を目指す。</li> <li>学校生活にしっかりとした目的や目標を持たせ、欠席なくし、遅刻の撲滅を目指す。</li> <li>授業やST、LT等を通して、校則やルールを守らせ望ましい社会性を養う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価をさせるなど、意識や意欲が高まるように工夫する。</li> <li>進路先や新たな方向性を模索しながらの開拓し、魅力ある学科作りに心掛ける。</li> <li>家庭や教員間の連絡を密にして、生徒の状況を常に把握できるように努力する。</li> </ul>   |
| 16 | 1年    | <p>ア 学習習慣の確立</p> <p>イ 基本的な生活習慣の向上</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>朝のSTで、学習プリントを実施する</li> <li>「正しい言葉使い、身だしなみ、遅刻撲滅」を重点目標に掲げ、望ましい社会性を養い、指導の中で約束・ルールを守ることの大切さを指導する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学習状況に応じた共通教科の課題を作成し、学習習慣を定着させ、学力の向上を図る。</li> <li>家庭との連絡を密にし、協力体制のもとに実施する。</li> <li>教員全員の共通認識のもとに指導する。</li> </ul>   |
| 17 | 2年    | <p>ア 「挨拶」<br/>・望ましい人間関係をつくる</p> <p>イ 「掃除」<br/>・自分の役割を果たす</p> <p>ウ 「時間」<br/>・約束・ルールを守る</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>望ましい人間関係の構築を目指し、挨拶・礼儀作法等の指導を日々行う。</li> <li>自らに与えられた役割をしっかりと果たす責任感の養成を目指し、授業規律の確立、清掃活動への積極的参加、体育祭・文化祭などの学校行事への積極的参加などを促す。高校生活における最大の学校行事である修学旅行を成功させる。</li> <li>身だしなみ指導、遅刻指導などを生活指導部と連携しながら、職員全体で行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒理解のために担任による面接等を昨年度以上に積極的に行う。</li> <li>各家庭との連絡を密にし、理解と協力をしていただくために、保護者会を7月と12月の2回実施する。また必要に応じて、保護者面談等を積極的に行う。</li> <li>担任、教科、学科間の連絡を密にし、情報交換を積極的に行い、生徒が自分の進路希望を実現することができる実力を養成する。</li> </ul> |

|                        |        |                                 |   |  |
|------------------------|--------|---------------------------------|---|--|
| 18                     | 3<br>年 | ア 社会人としての基礎の確立<br><br>イ 進路指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出欠状況の改善を図り、遅刻指導の徹底をする。</li> <li>・ 授業規律を高め、基礎学力の向上を図る。</li> <li>・ 清掃を徹底し、学習環境の整備を図る。</li> <li>・ 進路選択について意識を高める。</li> <li>・ 社会人としてのマナーとルールを身に付けさせる。</li> <li>・ 企業や大学などの進路先の情報を充実させ、きめ細かく提供する。</li> <li>・ 履歴書、面接、作文指導を充実させる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規則正しい生活習慣を身に付けさせる。</li> <li>・ 「身だしなみ、清掃、あいさつ」の徹底。</li> <li>・ 朝学習を実施し、基礎学力を向上させる。</li> <li>・ 進路模試を実施し評価する。</li> <li>・ 進路指導部・学科との連携を図り、保護者との連絡を密にする。</li> <li>・ 教師全員の協力体制のもとに実施する。</li> </ul> |
| 学校関係者評価を実施する<br>主な評価項目 |        |                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の基本的な生活習慣の確立について</li> <li>・ 生徒の学習活動の改善について</li> </ul>  |  |